

# MEセンター

ME Center



## 概要

当センターには現在、センター長(医師1名)および臨床工学技士(31名+兼務者5名)が所属しており、病院内で、医師・看護師や各種メディカルスタッフとチームを組んで生命維持装置の操作などを担当しています。MEセンター・腎センター・中央手術室・集中治療室・救命救急センター・内視鏡センター等の部署を中心に配置されており、医療安全管理部(兼任臨床工学技士)等とも連携しながら、配置部署のほか新生児センター・NICUや病棟・外来などにおいても医療機器が安心して使用できるように医療の質の向上と安全性の確保、有効性の維持に貢献しています。



## 特徴・特色

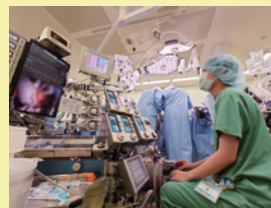
### ① 医療機器の保守点検(医療機器管理)

医療機器の中央管理体制を実施し、医療機器の安全性や操作性、機能が維持できるように臨床工学技士により医療機器の点検作業や定期的な消耗部品の交換および修理を日々行い、集中的に管理をすることにより効率的で適切な運用ができるように努めています。また院内だけでなく、ドクターヘリ、ドクターカー内の医療機器の保守管理も行い、常に安全な治療が行えるよう尽力しています。



### ② 医療機器の操作(医療技術提供)

腎センターでは血液透析を中心とした安全かつ効率的な血液浄化療法に携わっています。また、ICU等の急性期における血液浄化にも携わっています。中央手術室では心臓手術の際に患者さんの心臓の代わりにする人工心肺装置・補助循環装置の操作を中心に、ペースメーカー植込み手術、不整脈治療、心臓カテーテル検査、最新手術機器であるロボット手術、ナビゲーションシステム手術、手術後の疼痛ラウンドなど日々進化と多様化を続ける医療のチームの一員として携わっています。集中治療室、救命救急センターでは患者さんの安全確保のため、人工呼吸器やマスクによる非侵襲人工呼吸器などの呼吸療法、救急搬送された心肺停止状態の患者さんに対する補助循環装置や薬物中毒等に対する血液浄化装置の操作・管理も行っています。



### ③ 院内職員に対する研修・教育

院内職員、特に医師や看護師およびその他メディカルスタッフなどに対する医療機器の安全かつ適正使用の教育に力を注いでいます。中でも人工呼吸器や輸液ポンプなどの使用頻度の高い医療機器を中心に適正な使用方法やトラブルシューティングなどの勉強会を定期的に行っています。また当院は教育病院であるため、養成校として隣接する川崎医療福祉大学臨床工学科の学生を中心に臨床実習教育を行っています。臨床工学技士として必要な知識、技術はもちろんのこと、医療人としての心得や資質なども積極的に伝えて、全国の医療機関で「良き医療人」として活躍できる人材教育に取り組んでいます。



臨床工学技士は医療機器を動かして、医師や看護師と一緒に患者さんの治療を行っています。例えば、心臓の手術では人工心肺を、腎センターや集中治療室では血液透析装置を動かしています。また、人工呼吸器、輸液ポンプなどの点検管理を行い、医療機器の使い方について医師や看護師に対する教育・研修も行っています。高度で安全・安心な医療を行うために欠かせない重要な部門です。



2025.8 作成

M  
E  
セ  
ン  
タ  
ー